製造業 業界から

食料品製造/菓子関連は

の高騰が経営を圧迫。 の製造コスト増、包装資材等 高が減少。加えて、燃料費など の客数が減少したため、売上 製造は、寒波の影響で小売店 収益状況は改善しない。麺類 微増であるが、原料高により 袋菓子類が低調。水産物加工は 全体的には横ばいであるが、

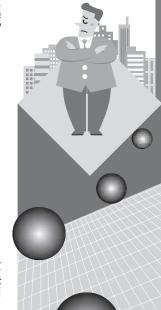
繊維・同製品/織物は、大企

製服製造は、寒波のため発注 業界全体の景況感が悪化。既 いた袖裏地が生産調整に入り 収益を圧迫。稼働率を支えて しているが、原料の絹が高く 業向けのネクタイ製造が増加

度末に向け、工事量が増加し 数社が影響を受けている。年 事業者の自己破産が多発し、 い状況。砂利販売は、小規模 減少が大きく、全体的に厳し ため、人件費増で利益は少ない 売上高が増加したが、収益が ートの出荷量は、公共物件の は増加したが、単価が不変の 窯業土石製品/生コンクリ 型薄型テレビ、パソコンが売

好 体的に好調に推移。 差はあるものの、全 械製造は、企業間格 で回復していない。 宝飾品/宝飾品は、 鉄鋼機械金属/機 転するところま

が縮小し、経営が厳しい。 要請、受注の減少により、収益 れたが、原材料の高騰、短納期 展示会に向けての生産に追わ



増加により、前年並みを確保

国人客の増加、個人旅行客

各社の経営は厳しい。

端に売上が落ちる時期であり した。自動車整備は、1月は極

(平成18年1月分)

が品薄で高騰し、小売店は仕 が増加している。青果は、野菜 価値をつけて販売する小売店 強化など製品加工による付加 店へ消費が流れる中、総菜の る。水産物は、相変わらず大型 売上高が微増したところがあ ターは、景気の回復感が見られ 小売業/ショッピングセン

売上高が減少した。家電は、大 の信頼回復努力は水泡に帰し 報道等により、業界をあげて インフルエンザの人への感染 米国産牛肉の再度の禁輸や鳥 入量を抑えている。食肉小売は 山梨県中小企業団体中央会 情報連絡員報告

調査対象の50業界のDI値は、製造業は、「業界の景況」、「収益状況」、 高」とも悪化。非製造業は、「業界の景況」、「売上高」、「収益状況」ともやや悪化 した。全体としては、「業界の景況」、「収益状況」、「売上高

大企業を含めた県内全体としては、前月に引き続き、回復に向けた動きが 広がってきているようであるが、中小零細企業は前月の全体的な好調さ 、厳しい状況となっている。原油高の影響に なコスト高に加え、包装資材、溶接資材などの石油関連副資材のコスト高が 収益を圧迫している。

2月は2円/ℓ程度値

上げ予定。自動車販売は、

旅館は、県外受験生の 宿泊は減少したが、外 **サービス業**/ホテル・

ンドは、元売各社は1 は6円程度値上げした。 価格は据え置き、灯油 が、ガソリン、軽油販売 円/ℓ程度値上げした を期待。ガソリンスタ があり、市況の活性化 ジタル放送の開始など オリンピックなどのビ 上を牽引した。今年は グイベント、地上デ

争による経営の悪化が懸念さ 事とも期待薄のため、安値競 たが、今年は公共工事・民間工 などの民間工事で多忙であっ 枠工事は、昨年はマンション 収益状況は改善されない。型 による緊急工事が増加したが 事業・民間とも減少した。寒波 年並みを確保。管工事は、公共 関連工事が増加するなど、前 鉄構工事は、工場などの設備 きが少ない等経営環境が悪化 業削減の影響、民間物件の動 建設業/建設業は、公共

より、営業利益が少ないため ック業者は、燃料コスト増に る可能性がある。中小のトラ の影響により、倒産企業が出 バス業界は、燃料価格の高騰 は減少しているため、売上減少 昼間客は短距離中心、夜間客 運輸業/タクシー業界は

収益を圧迫。3月まで

般管理費が増加し、 ビスの実施により、 新車販売に伴う無料サ

は同様の状況が続くと

経営維持が困難な状況